

講義コード	11C0121200	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	米田 紘康	開講期	第2期
科目名	行動経済学2					米田 紘康		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	この講義では行動経済学と行動ファイナンスの知識を習得します。 前半部分では、行動経済学を講義と実験の2つを通じて理解を深めます。 後半部分では、行動ファイナンスについて紹介・講義します。								
到達目標	多角的な視点から経済学が理解できる。 行動経済学はみなさんが習ってきた規範的な経済学（マイクロ経済学や金融論）に、心理実験や行動科学の要素を加えることで、より親しみやすい経済学になっています。 実験と理論を通じて、経済学（特にマイクロ経済学、ファイナンス）を理解できることを目指します。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	2単位科目であるこの授業では、少なくとも60時間の授業外学修（自主的な学修）が必要です。 具体的にどのようなことをすべきかは各講義で指示します。								
授業計画	【第1回】 オリエンテーション：行動経済学・行動ファイナンスとは 【第2回】 不確実性な判断は迷います：不確実性下の意思決定（1） 【第3回】 不確実性な判断は迷います：不確実性下の意思決定（2） 【第4回】 思考は面倒なので、直感と感性で決めます：限定合理性（1） 【第5回】 思考は面倒なので、直感と感性で決めます：限定合理性（2） 【第6回】 夏休みの宿題は予定通り進みません：異時点間選択（1） 【第7回】 夏休みの宿題は予定通り進みません：異時点間選択（2） 【第8回】 協調、裏切り、不公平、他人の目は気になりますか：社会的選好（1） 【第9回】 協調、裏切り、不公平、他人の目は気になりますか：社会的選好（2） 【第10回】 行動ファイナンスへの準備（1） 【第11回】 行動ファイナンスへの準備（2） 【第12回】 行動ファイナンス：証券市場のアノマリー（1） 【第13回】 行動ファイナンス：証券市場のアノマリー（2） 【第14回】 行動ファイナンス：証券市場のアノマリー（3） 【第15回】 まとめ								
成績評価の方法	期末試験（80％）と授業への取り組み（20％）で評価します。								
フィードバックの内容	授業中に理解を確認するために、リアクションペーパーを課すことがあります。 その場合、授業期間内にコメントして返却します。								
教科書									
指定図書									
参考書	『新版 行動ファイナンス』角田 康夫（金融財政事情研究会）2011、『行動経済学 —— 伝統的経済学との統合による新しい経済学を目指して』大垣昌夫・田中沙織（有斐閣）2014								
教員からのお知らせ									
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。 または h-yoneda@u-keiai.ac.jp までメールしてください。 その際には「行動経済学」の授業であることを件名に入れてください。								
その他									